



八島湿原・霧ヶ峰

(2022/06/25)

Report 堀

2015年7月以来の八島湿原・霧ヶ峰である。(2020年3月に車山には登っている)
今日の参加者は熊本さん、池戸さん、吉松さん、高橋(文)さん、布目さん、中島さん、
服部さん、岡部さんと堀、総勢9名、久々の大部隊となった。9名参加は昨年10月に
三斗小屋温泉泊りで行った「那須」以来である。



あずさ1号は
全車両指定席
だが、満席で
立っている人
もいる。
緊急事態宣言
が出ていたこ
ろは一車両に
数人しかいな
かったが…



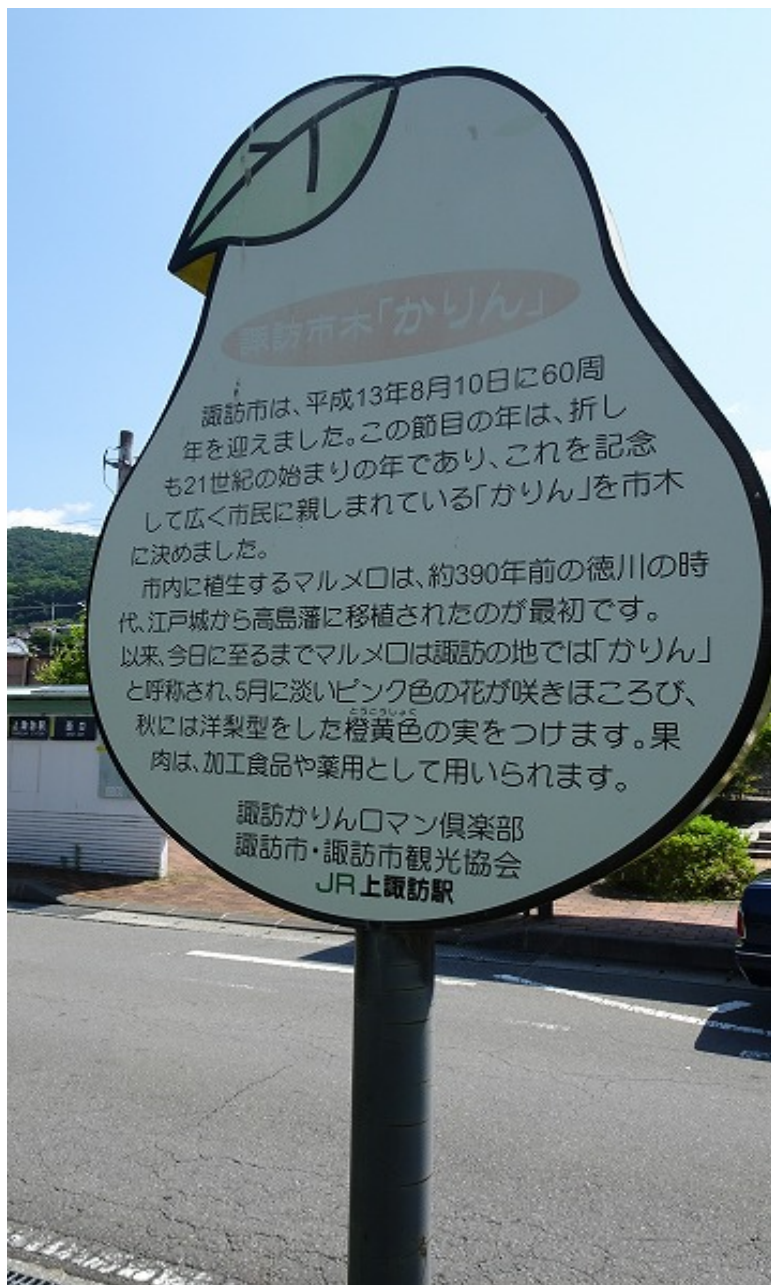
梅雨明けの発表は無いが、今日は猛暑日となるところもあるという。
左には残雪わずかになった富士山



右側には八ヶ岳が見えてくる。



9:13 上諏訪着。駅前のバスチケット売り場で、各自必要な金額のバスチケットを購入。
バスは 9:50 発なので、発車までにはかなり時間がある。「早く並んで！」と熊本さんに急かされるがバス停には我々しかいない。列車が混んでいた割には、霧ヶ峰コースは混んでなさそうだ。



バス停前にはこの辺りでカリンと称する木が植えてある。

長野県諏訪地方で、「かりん」と称するものはマルメロのことであり、導入時にカリンとマルメロを間違えたことにより、現代もその呼称でよばれている（ウィキペディア）

間違ったまま「カリン」の名前で市の木にしているところが面白い。



これがマルメロの木。普通「カリン（花梨）」と呼ばれ、カリン酒やのど飴にするものとは別の木です。



マルメロの実



(参考) カリンの実



9:50 定刻、アルピコ交通の八島湿原行バス発車!

強風の予報が出ていて、登山不適となっているが、車窓からは八ヶ岳がよく見える。



10:45 八島湿原入口で最初の集合写真。

ストレッチは省略。

写真左のトンネルが八島湿原への入口で、鹿除けのネットが掛かっている。



ゲートのトンネルを抜けると八島湿原が始まる。



ここでも集合写真。
七島八島（ななしまやしま）と呼ばれる標高1665mの高層湿原，天然記念物に指定されている。



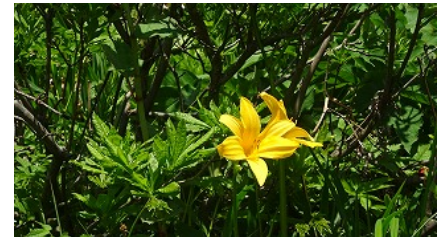
今日のコース
は、八島湿原～
物見岩～蝶々
深山～車山～
車山肩である。

湿原は期待通りの花盛り！

レンゲツツジ、アヤメ、ニッコウキスゲ

ハクサンフウロ？たぶんアサマフウロじゃないかな？（見分けは難しい）

イブキトラノオ、ウマノアシガタ





瑞々しいコバイケイソウの先には草原が広がっている。
明るい空と草原、どこが登山不適なのか？
各人、写真を撮りながら歩きを楽しむ。



湿原なので水
辺も見られる。

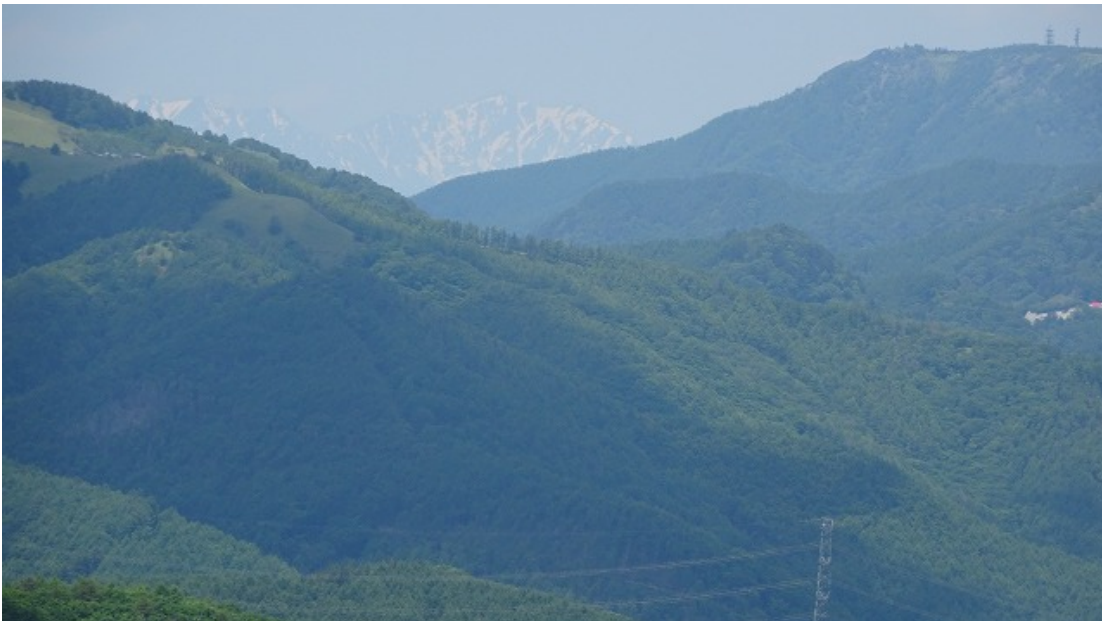


「山小舎の灯」の歌碑（作詞・作曲 米山正夫）

♪や～まごやのともしびはアほのかにとりて
エ・・・



2月以来の休養明けとなる熊本さん、問題なさそうだ。
昨年12月以来の長期休養明け岡部さんも元気・元気



はるかに見えているのは、北アルプス、後立山の白馬岳あたりか。
美ヶ原の左だから「穂高連峰」だと熊本さんから。地図で確認するとその通り。



12:00 物見岩着
 予定では蝶々
 深山で昼食だ
 ったが、「お昼
 だ、飯を食わせ
 る」の声が多く
 昼食にする。
 中島農園や布
 目菜園の差し
 入れ有難うご
 ざいます。



物見石と記さ
 れているガイ
 ドブックもあ
 るが、実物の表
 記は「物見岩」
 です。
 ここは風が強
 いが、岩のおか
 げで少しは風
 除けになって
 いる。
 蝶々深山は吹
 きさらしなの
 で、ここで昼食
 は“正解”



昼食を済ませて15分ほど歩けば蝶々深山である。



蝶々深山から車山へ向かう。

空高くグライダーが旋回している。3機いるが広い空ではカメラでなかなか捉えられない。

布目さんのカメラが辛うじて左端に捉えていた。

(後で確認したら中島さんも捉えていました)



蓼科山の上に大きなレンズ雲。前線が近くにあることを示している。梅雨明けと言いついて切れないのは、まだ前線が南下する可能性があるとの判断だろう。



車山の登りにかかる手前で、熊本さん、池戸さん、布目さんは、我々と別れて巻道を通って車山バス停に直行するルートを選択。



車山の登りは
先ずはコバイ
ケイソウの群
落で始まる。



少し標高が高
くなると蓼科
山の麓には白
樺湖が見えて
くる。



今回の登山のお礼に賽銭をあげて



登頂写真。本日の最高点、標高 1925m です。あとは一路、車山肩まで下るだけだ。



バス停「車山肩」に無事集合！バスは14:45発だが、巻道組は30分も前についていたようだ。ソフトクリーム、450円だったかな。ちょっと高いが、ミルク味が濃くておいしい！

バスは茅野駅 15:55 着。尖石温泉（とがりいし）縄文の湯という所に行ってみたかったが、少し遠くなるうえに、飲食施設が休業中。タクシーでいつもの玉宮温泉「望岳の湯」へ。

入浴¥600。食堂はここも休業中なので、休憩室で持参の般若湯で軽くのどを潤す。



茅野駅発 17:52
あずさ 50 号で
笠雲の架る富士山を見ながら静かに一杯！の帰途となった。

梅雨時なのでこのような好天に恵まれるとは予想していませんでした。今年の熊さん会は雨には降られないようです。

緑の湿原と高原の花、期待を裏切らない山行でした。